

(別紙 1)

事業実績報告書

1 事業実施内容

(1) 医師のキャリア形成支援に関すること

長崎県全体で<長崎県後期研修プログラム>を整備するにあたり、H26年度は長崎大学病院内の整備を重点的に行った。

(2) 上記に付帯する業務

1) 長崎大学病院プログラム整備

①内科ハブセンターを開設、基本方針の決定など準備段階で事務的支援を行った。また長崎県内外の関連病院に対し内科ハブセンター説明会を開催し、基本方針等の説明を行った。長崎大学病院研修医向けに説明会(広報活動)を実施した。

②長崎大学病院診療科ごとに、新専門医制度(基本19領域)に関する取り組みの調査を行い、プログラム作成を促した。

3診療科については、新専門医制度を想定したプログラムが学会から認定を受けた。またその他の3診療科については、プログラム作成を行った。プログラム作成にあたり、関連病院、離島・へき地病院との連携などの相談を受け、指導した。

2) 県内研修病院プログラム整備

①県内の研修病院へ現在のプログラムの有無と、新制度についての現状調査を実施した。

②長崎県病院企業団と長崎県病院企業団に所属する若手医師に関する専門医修得に関わる問題点等の協議を行った。

3) その他

①九州主要病院の専門医制度に関する動向調査を実施した。

②和歌山県地域支援センターを視察した。また福島県や秋田県の先生方との情報交換を行った。

③医師のキャリア形成のための講演会および新・専門医制度に関する講演会を開催した。

④その他

日本専門医機構と基本19領域に関する学会等の方針をホームページ等から情報収集を行った。

2 事業の成果・効果

新専門医制度で大きく変わるであろう新・内科専門医に対し、長崎大学病院で内科ハブセンターが開設したことは大きな成果と言える。医局の垣根を超えるこのシステムは、全国でも注目されている。プログラム整備はこれからだが、日本内科学会から発表されている研修カリキュラム（案）に沿う形での研修形態など関連病院から理解を得られた。また長崎大学病院に内科ハブセンターが開設したことにより、県内の研修病院において後期研修プログラムの整備への感心を高めた。

3 添付資料

あり